トラック輸送情報(平成22年10月分)

平成23年1月25日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全·調査課 交通統計室

担当:中野、金子、菊池 内線28722

直通: 03-5253-8346

ホームページ: http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

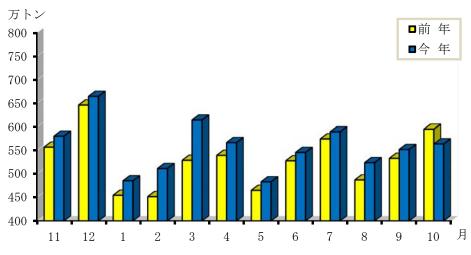
調査対象 26 社の本月の輸送量は、5,642,530 トンで、前月と比べ総輸送量が約 12 万トン増加したため、前月比 102.2%(季節調整済み 97.1%)となり、前年同月との比較では、約 31 万トン減少したため、前年同月比 94.8%の実績であった。

なお、平均稼働日数は24.1日で、前月と比べ0.6日増加し、前年同月との比較では、0.8日減少であった。稼動1日当たりの輸送量は、234,130トンで、前月と比べ約1千トン減少したため、前月比99.6%となり、前年同月との比較では、約5千トン減少したため、前年同月比97.9%の実績であった。

(図1-1、図1-2参照)

注)平成 22 年 7 月から貨物輸送の調査対象については、1 社減り、26 社となった。 前月比及び前年同月比は、26 社ベースで比較している(図1-1及び図1-2は26 社ベースで作成)。

(図1-1)輸送トン数の推移





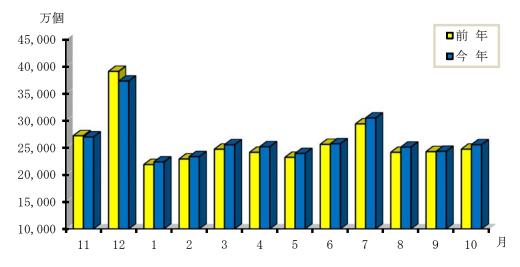
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、255,897 千個で、前月と比べ 約 1,222 万個増加したため、前月比 105.0% (季節調整済み 103.3%) となり、前年同月との比較では、約 826 万個増加したため、前年同月比 103.3%の実績であった。

(図2-1、図2-2参照)

注) 平成22年7月から宅配便輸送の調査対象については、事業承継により1社減り、17社となった。

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



% (図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比 1100 95 90 85 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 月

(3)調査対象27社の品目別及び地域別輸送状況(表1参照)

前月と比べると、いくつかの品目で、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・ 生産地からの貨物増が「繊維工業品」、「食料工業品」等で見られた。「繊維工業品」、「食料工業品」の主な増加地域 は東京、中部等であった。

前年同月と比べると、ほぼすべての品目で、輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。減少要因としては、 工場・生産地からの貨物減が「化学工業品」、「繊維工業品」、「その他(百貨店配送品)」で見られた。「農水産品」、 「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」の主な減少地域は、関東等であった。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 27社)

	/ DD D /J /J / DD D		減				主		増	減	品	目	主な増減地域	
品	目	著増	増	変らず	減	著減	± 	<i>ن</i> ہ	垣					※ 増減要因
**	農水産品	1 2	2	13	1									
前	金属製品	H	1	20										
月	機	龙	4	14	2	1	電気機械音						大阪	7
1=	化学工業品	4	3	16	3									
比	繊維工業品	1	4	17	1								東京、中部地方	4
ベ	食料工業品	1	4	13	3		製造食飲料、)4417	り合き	料工	坐 旦	東京、中部、大阪、近畿関東	4
^	日用品	1	5	12	5		その他	اصط	日用		<u>^</u>	未吅	東北、東京、関東、北陸信越、愛知、近畿地方	5
て	そ の ft	<u>h</u> 1	4	14	3		書籍・						関東地方、全国	8
<u> </u>	農水産品	L 1	2	10	4	1	百貨店							2
前	金属製品	<u> </u>	2	14	4		野菜、	果羽					東北、関東	
年	機			15										
同月月月	化学工業品			12										
月に					_		合成植	討脂_					神奈川、関東、中国	4, 7
比比				17									関東	4
ルベ	食料工業品	-	1				飲料、	その)他(の食	料工	業品	関東	7
て	日用品		2		6	2	書籍・	印吊	物				北海道、東北、東京、関東、近畿	4, 5, 7, 9
	その他	<u>b</u> 3	3	9	5	2	百貨店	三配	送品					2, 4

(注)「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡) 及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。 なお、地方運輸局に6大都府県を含む場合は「~地方」と表記した。

*	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
増	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
減	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季 節 的 需 要 増(減)
要	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
因	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者数 795 社/調査対象事業者数 1,088 社)の輸送量は、前月 比 104.2%、前年同月比 99.1%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

			全	国	北 海	道	東	北	関	東	北 信	陸 越	中	部	近	畿	中	国	四	国	九	州	沖	縄
前	月	比	104.2	2 %	114.7	%	105.4	%	97.8	%	104.6	%	99.2	%	98.7	%	98.6	%	102.8	%	97.6	%	108.0	%
前年	丰同.	月比	99.1	%	96.7	%	104.5	%	96.5	%	101.5	%	100.1	%	101.9	%	98.5	%	100.0	%	96.1	%	95.2	%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況(各運輸局より回答のあったもの)

北海道	本月の輸送は、対前月比114.7%、対前年同月比96.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「水産品」等が、工場・生産地からの貨物増等により「紙・パルプ」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、建設関連の需要減等により「工業用非金属鉱物」等が、工場・生産地からの貨物減等により「石炭」等が、季節的需要減等により「動植物性飼・肥料」等が、それぞれ減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。
東北	本月の輸送は、対前月比 105.4%、対前年同月比 104.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、天候の影響により「野菜・果物」が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
関東	本月の輸送は、対前月比97.8%、対前年同月比96.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「動植物性飼・肥料」が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地からの貨物減により「紙・パルプ」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。
北陸信越	本月の輸送は、対前月比104.6%、対前年同月比101.5%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「金属製品」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「食料工業品」等が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。
中部	本月の輸送は、対前月比 99.2%、対前年同月比 100.1%であった。品目別には、商社・問屋からの貨物増により「取り合せ品」が増加したと回答する事業者があった。一方、「その他の化学工業品」、「その他の製造工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。
近畿	本月の輸送は、対前月比98.7%、対前年同月比101.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の化学工業品」、「日用品」等が、景気回復の兆し等により「金属製品」等が増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入の貨物減により「機械」、「繊維工業品」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中国	本月の輸送は、対前月比98.6%、対前年同月比98.5%であった。品目別には、輸出入の貨物増等により「その他の化学工業品」等が、景気回復の兆し等により「砂利・砂・石材」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、「食料工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。
<u>四</u> 国	本月の輸送は、対前月比 102.8%、対前年同月比 100.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「輸送用容器」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。
九 州	本月の輸送は、対前月比97.6%、対前年同月比96.1%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「木材」、「砂利・砂・石材」等が、季節的需要増等により「野菜・果物」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「工業用非金属鉱物」等が、不況の影響等により「セメント」等が、それぞれ減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
沖縄	本月の輸送は、台風の影響があったものの、対前月比 108.0%、対前年同月比 95.2%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の農産品」、「水産品」が増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入の貨物減により「金属くず」、「その他のくずもの」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

		めつに事		輸后		- * > 1 (北	東	関	北	中	近	中	<i>ごめ</i> る。 四	九	沖	全
			_		•		海			陸 信							国
品	目						道	北	東	越越	部	畿	国	国	州	縄	計
1.	榖				牧	増	3	9		1			1		1		15
٠.	私				7:	減	1			2			1		1	1	6
2.	野	菜		果	! 牧	増	6	1		1		1	1	2	11		23
	۲,	*		7 1	` '	減		2		1			1		1		8
3.	そ	の他	の	農	産品	増				1			1		1	1	11
<u> </u>	`	•••		/100	/ <u>_</u> H	減	1										1
4.	畜		産		5	増								1			1
	ш.		<i>,</i>			减							1		1		3
5.	水		産		5	増	3	1		1		1			1	1	8
			,			減				1					1		3
6.	木				木	増		2		2	1				4	1	12
	·					減		1									5
7.	薪				₽ P	増											
						減											
8.	石				₽ P	増		1									2
						減											3
9.	金		属		釒	増											
						減									1		1
10.	砂	利 -	砂		石木	増				1			4		5		17
						減		2					2				10
11.	エ	業 用	非金	主属	鉱物	増		1			1						2
						_	_	1					1		2		6
12.	鉄				쉷	増						1	3		1		7
						減				1			2	1	1		7
13.	非	鉄		金	扂	増									1		1
						減						-	-			,	4.5
14.	金	属		製	5	増		1	1	4		3	2	1	1	1	14
						減		1		1	J	2	1		2		7
15.	機				村	増		1	,	3	1	,	2	,	4	,	12
						減		1	1	2	1	1	1	1	3	1	12
16.	セ	У		ン		増		1		2	2			1			10
						減		1	4	1			4		7		13
17.	そ	の他	の	窯	業品	増		,	1				1				4
						減		1					1				2

当日 18 18 18 19 19 19 19 19	運 輸 局		北	東	関	北 陸	中	近	中	四	九	沖	全
当日 18 18 19 19 19 19 19 19		海										国	
18.	品目		道	北	東		部	畿	国	国	州	縄	計
19. その他の石油製品 増	18. 揮 発	Ш		1	1	1							4
19. その他の石油製品 減 1 2 1 1 4 4 20. 元の他の石炭製品 減 1 2 3 3 3 3 3 3 3 5 5 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		減	1							1			
20. 〒 ク ス は 増	19. その他の石油製,	i6 —	1						1		3		9
21. 化 学 薬 品 増 1 2				1						1			4
21. 化 学 薬 品 増 1 2	20. チの他の万 炭 制 』	· 増				1							1
22. 化 学 肥 料 増 1	ての他の石灰表に	_	4	0									0
22.化学肥料 指域1 1 <td< td=""><td>21. 化 学 薬 ,</td><td>10</td><td>ı</td><td>2</td><td></td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td></td<>	21. 化 学 薬 ,	10	ı	2		4					0		
22. 化 字 肥 料 減 1		_	1			'		1					
23. その他の化学工業品 増 1 1 1 1 1 3 24. 紙 ・ パ ル ブ 海流 田 大 米 品 増 2 2 1 1 2 2 1 11 1 </td <td>22. 化 学 肥 🕏</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>•</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td>	22. 化 学 肥 🕏	4				1		•	1			1	
24. 紙 ・ パ ル ブ 増 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 11 2 2 2 1 1 1 1		増				'		2			<u> </u>	'	
24.紙 ・パルプ 増 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 3 5 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5	23. その他の化学工業	īń 💮		1			1	_					
24. 紙 ・ ハルフ 減		増	2			1	1	2		2		1	
25. 繊維 工業品増加	24. 紙 ・ パ ル :	7			1	-					3		
25. 級 維 工 素 品 減	a - 6+h - 644	増							1				1
26. 長 料 上 素 品 減 1 3 2 3 1 1 3 3 5 2 9 9 27. 日 用 品	25. 繊 維 工 業 ;	10				1		1		1	1		4
減 1 3 2 3 1 3 5 21 27 1 2 9 9 減 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	oc 속 씨 ㅜ 艹	増	2	5	2			2	1	3	5		20
27.日 用	20. 艮 科 工 耒 ;	減	1	3	2	3		1	3	3	5		21
2 1 1 1 5 5 28. その他の製造工業品	27 D 🖽	増	1	1	1		1	2	1		2		9
28. その他の製造工業品 減	27. ц д	減	2		1				1		1		5
29.金 属 く ず 増	28 その他の 制造工業。	_		1	1			1	1		3		7
30. その他のくずもの 増	26. () 尼 () 农 是 工 术 (减					1				1		2
減 増 1 1 1 2 3 1 1 2 9 3 1 2 8 3 1 1 1 1 4 4 34 取 り 合 せ 品 増 1 2 1 1 1 3 2 1 1 3 3 2 10 10 3 1 3 5 そ の 他 のくずもの は は 1 2 1 1 3 3 2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	29. 金 属 〈 ⁻	7											
30. その他のくすもの減 1 1 2 3 31. 動植物性飼・肥料 増 1 2 3 1 1 2 9 減 6 2 8 3 1 1 2 8 8 32. 廃 乗 物 増 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- ,,,,,	減										1	1
減	30.その他のくずも(/)											
31. 期 他 初 任 期・胎 科 減 6 2 8 32. 廃 乗 物 1 1 1 4 33. 輸 送 用 容器 増 1 1 1 1 1 4 1 1 1 4 34. 取 り 合 せ 品 増 1 2 1 1 1 2 1 1 3 2 10 35. そ の 他 1 2 1 1 3 2 10	· -	減										1	
減 6 2 8 32. 廃 乗 物 1 1 1 4 33. 輸 送 用 容器 1 1 1 1 1 1 4 34. 取 り 合 せ 日 1 1 1 1 1 4 35. そ の 他 1 2 1 1 3 2 10	31. 動 植 物 性 飼 ・肥 %	74		2	3					1			
32. 廃 来 物 33. 輸 送 用 容 器 1 1 1 34. 取 り 合 せ 日 35. そ の 他 1 2 1 1 3 2 10		减		4						4			
33. 輸送用容器 増加 1 1 1 1 4 34. 取り合せ品 増加 1 1 1 1 2 7 減加 1 1 1 1 3 35. その 1 1 1 1 3 2 10	32. 廃 棄	9	1	1						1	1		4
33. 輌 送 用 谷 減 1 1 1 1 4 34. 取 り 合 せ 日 1 1 1 2 7 減 1 1 1 1 1 3 35. そ 0 世 1 2 1 1 3 2 10						1							1
34. 取 り 合 せ 品 増 1 2 1 1 1 1 2 7 減 1 1 1 1 3 3 35. そ の 他 増 1 2 1 1 3 2 1 1 3 2 10	33. 輸 送 用 容 岩	添	1	1		ı				1	1		
34. 取 り 合 せ 品 減 1 1 1 3 35. そ の 他 増 1 2 1 1 3 2 10		_	1				1		1		<u> </u>	2	
35. その他増り12113210	34.取 り 合 せ ,	īn	ı				ı				1	۷	
35. そ の 1世 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		増			2	1		1					
1708.	35. そ の (也減		3	2	'			1		1		7